

「山田野理夫と

妖しき怪談世界」

怪談は人間の苦悩と美の投影であると
私は信じている。
（『東北怪談の旅』より）

山田野理夫

（大正 11(1922)～平成 24(2012)年）

仙台市生まれ。東北帝国大学文学部で農業史を専攻後、農林省統計調査員、東北大学付属農学研究所員などを経て、作家に。詩人。歴史家。『南部牛追い唄』で第 6 回日本農民文学賞受賞。昭和 40 年代には、東北を拠点として集めた怪談話の集成も多数発表し、当時の怪談ブームを牽引する人気作家となった。

『山田野理夫 東北怪談全集』（2011 年）を出版し、その魅力を改めて紹介した荒蝦夷（仙台市）の土方氏に、山田野理夫とその作品、そして怪談世界について語っていただきます。

日時 令和 2 年 11 月 28 日（土）

午後 2 時～3 時

場所 仙台市若林図書館 2F 視聴覚室

講師 有限会社荒蝦夷 土方正志氏

対象 一般の方（中学生以上） 定員 20 名

申込み 11 月 13 日（金）午前 9 時 30 分～

図書館カウンターまたは電話にて受付

※定員に達し次第、受付終了とさせていただきます。

問い合わせ 仙台市若林図書館 tel. 022-282-1175

※お預かりした個人情報は、利用目的外には使用いたしません。